

令和2年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン

第1学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉（長音・促音・拗音・撥音など）の表記、助詞（は・へ・を）の使い方、句読点、かぎを文の中で正確に使うことに課題がある。</li> <li>相手に伝わるように、行動や経験について順序を考えて話す力に個人差がある。</li> <li>語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表す力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に読み書きすることができるように繰り返し指導する必要がある。</li> <li>日常で活用する力を付ける必要がある。</li> <li>文章の書き方の基本形を身に付け、表現力を高めることが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き方の教材（MIMなど）を使用し、定着できるようにする。また音読カードを活用し、正確に文字を読む力の向上を図る。</li> <li>「聞き方・話し方」を教室掲示し、基本を意識させる。朝の会でのスピーチなど、話す・聞く場面を日常化し、話す・聞く力を高める。</li> <li>正しくない文章を提示し、正しく書き直す学習を繰り返し行い、書く力の向上を図る。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数の合成分解の定着に個人差がある。</li> <li>減法の中の求補の場合の理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数について、数の構成を具体物や半具体物を用いて繰り返し行う指導が大切である。</li> <li>求差の場面も減法であることを理解できる指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物操作を通して、「いくつといくつ」に分けられるかについて理解させる。</li> <li>ブロックや数直線を活用しながら、「10のまとまりと端数がいくつ」とみて考えられるようにする。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を楽しむことはできるが、自分の思いや願い、気付きをもつことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や生き物、身近な人々と関わる活動を通して思いや願い、気付きがもてるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動のめあてを示し、児童の行動やつぶやき、記録から児童の気付きをとらえ、全体に広め認めることで、気付き力を高めていく。</li> <li>観察の際は、色・形・大きさ・数・手触り・匂いなど、見る視点を明確にし、変化を見付けることを意識させる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて体を動かしながら学習に楽しんで取り組もうとすることに個人差がある。</li> <li>友達の楽器の音や伴奏をよく聴きながら、自分の音を合わせて表現することには課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</li> <li>「音楽を聴く」時間を大切に、曲想やリズム、旋律などを一人一人がよく聴いて感じ取り、表現する活動につなげていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループなど活動を広げ、自然と声を合わせて歌ったり、遊んだりする楽しさを感じ取ることができるようにしていく。</li> <li>音楽に合わせて拍打ちやリズム打ちをしたり、楽器を取り入れたりする活動を積み重ねて、「よく聴く」ことを習慣化し、音色、リズム、曲想などを感じ取って楽しく表現できる活動を工夫していく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しくのびのびと自分の思いを作品に表すことができる児童が多いが、発想や技術面では個人差がある。さらに一工夫したり、発想を広げたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想を広げるために時間を確保したり、表現の基本的な技能を身に付けさせたりすることが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な技能を身に付けられるよう、はさみやクレヨン・パス等の様々な使い方を教え表現の幅を広げる。</li> <li>友達の表現のよさを感じたり、友達と一緒に発想を広げられたりするような学習環境の工夫をする。</li> </ul>

<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよい動きを見つけ、伝えることに課題がある。</li> <li>・安全に運動するために十分な間隔を空けるなど安全に気を付けることに課題がある。</li> <li>・順番やきまりを守り、誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよい動きを真似したり、伝え合ったりする活動を通して、その動きのもつ楽しさや自分の動きの広がりを感じられるよう指導することが大切である。</li> <li>・運動遊びを楽しむ前提として、場の安全に気を付けられるよう指導することが大切である。</li> <li>・ルールを守ることや勝敗を受け入れることの大切さを理解できるように指導することが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の動きを見て見つけたよい動きや、自分の動きに取り入れて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝える振り返りの時間を設ける。</li> <li>・安全に気をつけて運動遊びを楽しんだり、自分だけでなく、周りの友達にも意識を向けて言葉掛けをしたりしている児童を称賛する。</li> <li>・クラス全体でルールを確認し、活動する。</li> <li>・友達と一緒に楽しみながら運動している児童を称賛する。</li> </ul>
<p>道 徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを自分のこととして考え、生活の中で生かしていくことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近な資料や説話を工夫し、実践力を身に付けていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の日常の体験を想起させながら学習に取り組ませる。また、日常の様々な場面において、具体的な指導を積み重ねる。</li> <li>・自らの思いを自由に発言できる雰囲気づくりや、友達の考えを受け止める態度の育成に努める。</li> </ul>